

エコサポートTGAL

鹿児島市長田町

環境規格取得を支援

鹿児島市長田町を拠点に活動する特定非営利活動法人（NPO法人）エコサポート人（エコ・ガル）は、主に県内の中小事業所を対象に環境規格認証取得や環境ビジネスを支援す

「エコアクション」(Eco Action) 21」、鹿児島市が定めた市環境管理事業所などがある。中小事業所にとって比較的取扱いやすいといわれれる、ISO以外の3規格の普及に特に力を入れる、

初の依頼は年3件程度。3年ほど前から増した。県や市が人材時の評価項目に環境規格取得を取り入れたのが大きい」と話す。

A photograph of a man with short dark hair, wearing a white polo shirt, standing near a window. He is looking out at a lush green garden or forest. The window frame is visible on the left, and the background is filled with dense foliage.

経営改善効果も連動

る。環境活動に取り組みやすい仕組みを提案しつつ、経営体質強化と人材育成にもつなげることを重視してい

環境規格には国際規格の「ISO14001」、京都市や市民らによる組織が考案した「KES」、環境省のガイドラインに基づく



員資格者8人を含む約20人で構成。資格者を中心¹に依頼事業所のサポート、環境講座開催などに取り組む。事業所の認証取得後も、さらに改善を目指して支援を続け、450社～500社とかかわる。

中小企業診断士でもある久留理事長は「環境負荷を減らす取り組みを報告する事業所も

や公共交通機関利用などで効果が表れやすい。このほか、「廃棄物分別や清掃の徹底に良品が減った」「点検や改善を常に意識することで仕事の段取りが向上しミスが減った」など、環境面にどまらない、経営面での効果を報告する事業所も

多いという。
名称のT G A Lは
「T h i n k G l o
b a l l y A c t
L o c a l l y (地域
規模で考え、地域で実
践)」から付けた。環
境経営に取り組む地域
の事業所から意識の高
い人材が育ち、家庭や
地域に効果が波及して
いく「環境まちづくり」
を目指す。



事業所向けの環境配慮経営研修で講師を務める久留正成理事長。「長続きする仕組みが必要」と強調する=鹿児島市城西2丁目のかごしま環境未来館